

事実と向きあうことの大切さを実感



安齋 育郎氏

2/8 安齋育郎氏講演「原発の危険性と汚染水の行方」

堺社保協新春講演会

過去最高の143人の参加

今回は、社保協としては社会保障問題という分野から少し離れたテーマでしたが、放射線防護学の権威である安齋氏を講師にお招きすることができました。80年代に超能力やオカルトなどがブームになっていた時に、科学者の立場から毅然とその嘘を批判し、真実を証明してテレビでも有名になった安齋氏。講師を良く知る人たちが、駆けつけたかたちになりました。開演前に、会場は超満員となりました。



安齋氏は現在80歳ですが、原発事故後の4月16日から福島県浜通りへ入り、その後定期的に測定や除染や相談などの活動をされています。今月で70回目になるそうです。

福島では、1973年から氏も一緒に、原発反対運動が続いていたことを初めて知りました。今回の事故は、スリーマイル島やチェルノブイリの事故とは違って、原子炉を溶かしたドロドロマグマ核燃料が常に発熱している危険な状態で、毎日冷却水で冷やさないといけない。それが汚染水としてタンクに溜められている。汚染水から放射線物質

を取り除いてもトリウムだけは残る。この水をどうするのかが大問題と指摘され、セメントと混ぜてコンクリートに閉じ込めブロックとして再利用できると具体的な提案もされました。こういった事故でもっとも深刻なのは、心理的影響と社会的影響だとの指摘に驚きました。

福島は「現在、もっとも放射線検査を実施している県なので、検査をパスしたものは水も食品も安全・安心。科学的根拠のない風評被害がひどい状態。福島の人々が被ばくしている放射線量は堺市民でも同じ線量です」とキッパリ説明されました。

第31回健康友の会みみはら「旅行サークル」バスツアー

知多半島海の幸、絶景満喫の旅

とき **5月10日(日)~11日(月)**

集合場所 **堺東・合同庁舎前(堺市役所横)**

集合時間 **午前8時30分**
(10分前には集合してください)

行き先 **愛知・知多半島**

定員 **35名**

参加申し込み **健康友の会みみはら事務局**
(TEL) 072-244-8061

お問い合わせ **090-9614-4993**
(旅行サークル事務局・井上)まで

介護の現場から

②

介護事業部

事務次長 伊与田真也

このように、頑張るの為に、頑張っています。このような状況になった原因はたくさんあります。中でも介護報酬改定の影響が大きく、訪問時間が

利用者さんにとってこのような流れで、本当にいいのでしょうか？サービスを受けたいが受けることができない利用者さんが増え、利用者さんだけでなく、ご家族の介護負担が大きくなること

介護報酬改定のたびに悪くなる介護保険制度

介護現場は、深刻な介護職員不足。同仁会も同様で、特に訪問介護のヘルパーが、募集をかけても集まらない状況にあります。3年前まで1000人程の登録ヘルパーがいましたが、現在は半数までに減っています。そんな中でも、同仁会のヘルパーは利用者さ

短くなり、生活援助に関してはサービスが受けにくくなりました。2021年の介護報酬改定では、要支援の方が現行受けているサービスを、受けられなくなること検討されています。

利用者に安心して使えるよう声を上げていきたいと考えています。利用者さん・ご家族さんも一緒に介護保険について興味を持っていただけたら幸いです。

私たちが介護に携わる者として、介護保

メディアに疑問

岸和田市 室井 宏文(56歳)

世間を騒がしている新型コロナウイルス。大変な事態ですが、メディアの過剰なほどの報道に疑問を感じます。もっと国民に知らせるべき報道があるのでは、そんな心配をするのは自分だけ？

堺大空襲

北区金岡町 井澤 康子(74歳)

私は満州生まれです。堺に空襲があったことを、記事で知りました。戦争反対！むごいです。

友の会26支部

南区茶山台 久松 正昭(71歳)

1月号には26支部ぜひ紹介。知ってる方の顔もあり皆さんの頑張っている様子がみれてよかったです。高齢化社会の今、ますます友の会の役割が大きくなると思います。

鮮明な記憶

南区三原台 吉田 安恵(78歳)

終戦の年、私は4歳。母と一緒に仁徳天皇陵に逃げた記憶がある。また、竜神の近くにあった川に死体がいっぱいあったのを見てびっくり。鮮明におぼえています。戦争体験いつも読ませてもらっています。

楽しみです

西区鳳中町 黒田 俊子(77歳)

私と同年代の方々のお便りを楽しみにしています。

楽しみです

長尾 加代

春を感じます

柿本 初野

楽しい

平石 米子

Letter お便り

会員さんから「とも」に届いたお便りを紹介します。